

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	大阪府柏原市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	柏原市今町地区文化遺産活用計画	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度		
5 実施計画の概要			
「第4次柏原市総合計画」（平成23年度策定）を踏まえ、市内今町地区の文化遺産について、今町夏の例大祭で使用される山車の曳行体験・修復・修復作業一般公開・映像記録作成などの事業を通じて、保存・継承を図り、利・活用しようとする意識の啓発や体制の確立を目指す。 ※「第4次柏原市総合計画」は http://www.city.kashiwara.osaka.jp/docs/201311			
6 実施体制			
柏原市が本実施計画に係る全体の企画・調整や補助事業に係る指導等を行う。主な主担課・役割は次のとおり。 教育委員会文化財課：全体の企画・調整、補助事業における文化財の取扱い等に関する指導・調整等 また補助事業は次の団体が実施する。 今町夏の例大祭保存継承実行委員会（関連団体：今町区区長会、今町祭禮委員会、今町老人会、今町青年団、今町わかば子供会、柏原駅前大正通り商店街）			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成29年度交付決定額： 0 千円	平成30年度申請額： 9,157 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
市内今町地区についての歴史や民俗に対する関心や認識が向上し、地区に伝承された文化遺産の保存と次世代への継承が確実に行われることが期待される。また、地車の曳行体験や地車修復作業一般公開および映像記録鑑賞などを通じて、市内各地区間の交流が活発化し、市内各地区および市域全体の文化遺産に対する関心が高まり、文化遺産を利・活用した地域の活性化に寄与することができる。			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	市立歴史資料館において映像記録の紹介や放映などを行う。		
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
この事業を通じて市民一人一人が自らの足元に所在する文化財の保存・継承・活用に対する意識を高めるとともに、そうした地区・地域の特徴を活かした市全体の文化財行政の方向性を示した歴史文化基本構想を早急に策定し、文化財を活かした市域全体の活性化を図ることができるよう努めたい。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	柏原市教育委員会教育部文化財課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 1 :	祭礼行事への参加住民数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 1 :	今町夏の例大祭地車曳行体験参加者数			関連事業:	② ③	
目標値 1 :	【現状値】 平成 29 年度 70 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 100 人					
設定根拠 1 :	平成29年度の参加者数を上回ることを目指し、およそ1.5倍未満とした。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	その他（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 2 :	今町夏の例大祭行事および地車修復記録映像の利用回数			関連事業:	① ③	
目標値 2 :	【現状値】 平成 29 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 50 回					
設定根拠 2 :	市内学校数（20校）と市立歴史資料館や当該地区および周辺地区での利用などを勘案して。					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	
回	回	回	回	回	回	

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	今町夏の例大祭保存継承事業	実施団体：	今町夏の例大祭保存継承実行委員会		
事業区分：	記録作成	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度		
事業概要：	今町夏の例大祭における行事や地車修復作業などを映像として記録し、DVDに保存する。DVDについては伝承基本版とともに、簡便に利・活用可能な普及版を作成し、柏原市の小中学校など各教育施設等に配付する。				
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等		（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	今町夏の例大祭行事および地車復元修復記録映像の年間利用回数				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 50 回				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
回	回	回	回	回	回
事業②：	今町夏の例大祭保存継承事業	実施団体：	今町夏の例大祭保存継承実行委員会		
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度		
事業概要：	今町夏の例大祭で使用する地車は、永年の使用による劣化が著しく、安全に曳行を行うことが難しい状態にある。当該地車は歴史的・文化的価値が高いものであることから、次世代への継承のため復元修復作業を実施する。				
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数		（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	今町夏の例大祭における地区車曳行体験参加者数				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 70 人 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 100 人				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
人	人	人	人	人	人
事業③：	今町夏の例大祭保存継承事業	実施団体：	今町夏の例大祭保存継承実行委員会		
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 30 年度 ～ 平成 30 年度		
事業概要：	今町夏の例大祭での行事、あるいは曳行する地車の構造や製作技術および美装などについて、復元修復作業現場での一般公開や、市立歴史資料館ホームページでの情報発信、館での映像記録の放映などを通じて、広く周知する。				
評価指標区分：	・その他		（具体的な指標は次のとおり）		
具体的な指標：	市立歴史資料館入館者の関係映像記録（DVD、普及簡易版）視聴回数。				
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 30 年度 20 回				
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
回	回	回	回	回	回